



## 問 花ハスで地域の活性化を

白山町二俣地区の花ハスによる活性化事業は、地区内の棚田を利用し、地区の方が花ハスを植え、それらを保全し、周りの除草清掃活動を行うことにより里田の景観を維持し、観光スポットとして誘客を図り、地域の活性化につなげてこられた。

この花ハスが楽しめる時期と過去の誘客実績は。

また、今後、市としてこの事業にどのように取り組んでいくのか。

## 答 地域の活性化につながるよう取り組んでいく

花ハスは、6月下旬から咲き始め、7月に見頃となり、8月中旬まで楽しめる。

白山町二俣地区の花ハスには、市内外から年間約3,000人が訪れており、今後も花ハスの観光スポットとして、多くの方が二俣地区を訪れることにより、地区の方が花ハスを保管理することに生きがいを感じ、また、観光客と交流することで、地域の活性化につながるよう取り組んでいく。

### その他の質疑・質問

- 職員のハラスメント対策について
- 『〇〇のまち津』について
- 津球場公園内野球場を利用したまちづくりについて
  - 東海規模、全国規模の大会誘致状況は
  - 津球場の利用状況は
  - 女子高校野球を誘致してはどうか

など

▶ 6月下旬から8月中旬まで、市内外の皆さんに楽しまれている『二俣地区の花ハス』



## 問 榊原温泉「湯の瀬」リニューアルオープンからの状況と今後は

湯の瀬はリニューアル後、利用者の声を取り入れ、改善を進め、満足度が向上している。本定例会に福祉利用者以外の人も利用できるよう条例改正が上程された。地域連携のレストランや土産物開発、周辺のテントサウナや地元の人による観光農園等も整備されつつあると聞いている。ようやく集客に向けてのスタートラインに立ったと思う。現在の活性化への状況と今後の取り組みはどうか。

## 答 安定した利用となっており、今後も利用者拡大等に取り組む

津市榊原温泉「湯の瀬」は、オートキャンプ場とテントサイトが安定した利用となっており、バーベキュー棟を有効に活用することで更なる利用拡大を見込んでいる。また、周辺では、株式会社OMIMOにより、ハーバルテントサウナが本年1月から運営開始され、観光農園も今夏オープン予定である。湯の瀬の宿泊施設と周辺施設を組み合わせ、榊原温泉への旅行者拡大と滞在時間の増加に取り組んでいく。また、ウォーキングコースの整備やバス等の交通整備に取り組むとともにSNSを中心とした情報発信による地域活性化にも取り組む。

### その他の質疑・質問

- 能登半島地震の支援の状況について
- 令和6年度の保育所等の待機児童について
- 美里地域での保育所の再開について
- 女性消防職員と女性消防団員の活動について
- 新しい図書館の在り方について
- 職員が高い志を持てる取り組みについて
- 本庁舎地下の食堂について

など

▶ リニューアルオープンした津市榊原温泉「湯の瀬」

